BWT (Burrows-Wheeler Transform)

BWT は文字列の変換方法である。作り方を banana の例文を使って、以下に説明する。

作り方	例						
まずは、\$ を最後に追加する。	banana $ ightarrow$ banana $\$$						
● \$ は他の気子よりかさい。● \$ は他の場所に現れない。	ただし \$ < a < b < n						
全部の循環文字列を並べる。	b	a	n	a	n	a	\$
	a	n	a	n	a	\$	b
	n	a	n	a	\$	b	a
	a	n	a	\$	b	a	n
	n	a	\$	b	a	n	a
	a	\$	b	a	n	a	n
	\$	b	a	n	a	n	a
循環文字列を辞書式順序でソートする。	\$	b	a	n	a	n	a
	a	\$	b	a	n	a	n
	a	n	a	\$	b	a	n
	a	n	a	n	a	\$	b
	b	a	n	a	n	a	\$
	n	a	\$	b	a	n ,	a
	n	a	n	a	\$	b	<u>a</u>
最後の縦列を上から下まで読むと、BWT に	banana\$			の BW			Γ は
なっている。	annb\$aa						
● 復元のため、BWT を縦書きにする (右)。	\$			a			
• BWT の文字をソートすると、左の縦書	a			n			
き文字列を求める。(例: \$aaabnn)	a			n			
復元したい時、右の \$ から始めて、以下の命	a ← —			نند		b	
令を適応する:	b	\geq				\$	
 左の文字を充 C、 左の文字は x 番目の c なら、右の x 番	n					a	
目の c に移動する、	n	•				a	
その作業を繰り返す。							

雑学:Burrows さんと Wheeler さんは BWT という変換を圧縮のために 1994 年に発明した。現在、テキスト索引に対して、とても有名な方法となっている。

(クップル ドミニク, 令和2年7月)